７京医大第６２８号
令和７年７月１１日

関 係 大 学 長 様
関係研究機関等の長 様

京都府立医科大学長
夜 久 均
（公印省略）

救急・災害医療システム学教授候補者の推薦(期間延長)について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本学大学院医学研究科救急・災害医療システム学（医学部医学科救急医療学教室）教授を下記の要領で公募、選考することとなり、御依頼申し上げているところですが、この度、期間を延長することになりました。

この度公募する救急・災害医療システム学教授には、救急・災害医療において秀でた臨床能力を有し、かつ優れた教育・研究能力を持ち、人材確保・育成を推進することができる方を求めます。また、現在本学附属病院は、救命救急センター指定を受けており、その活動を円滑に発展させる能力のある方を求めます。

なお、現在本学は、大学院改革や国際化など我が国が直面する課題に真摯に取り組んでいることを申し添えます。

つきましては、ご多用中恐縮に存じますが、貴施設におきまして適任者がおられましたら、下記により**令和７年８月１８日（月曜日・午後５時必着）**までにご推薦くださいますようお願い申し上げます。

敬具

記

(1) 履歴書 １部（別紙様式１）
(2) 業績目録 １部（別紙様式２）
(3) 業績目録に記載された代表的な論文 10 編の要旨・意義・被引用回数（Scopus）
各２００字程度
(4) 論文別刷（全ての筆頭著者と責任著者論文および代表論文）の PDF（ファイル名を「業績目録の番号」としてください）（紙媒体は不要）
(5)「診療におけるこれまでの経緯及び今後の計画」（注１） ２０００字程度
(6)「研究における過去の経歴及び将来の抱負」 ２０００字程度
(7)「教育における過去の経歴及び将来の抱負」（注 2） ２０００字程度
(8) 推薦書（所属長、指導教授などの２名） 各１部
(9) (1)、(2)、(3)、(4)、(5)、(6)、(7)については、下記規定に従って記録したＵＳＢフラッシュメモリーも添付してください。

※ (1)履歴書、(2)業績目録の様式は、本学ホームページでご確認ください。
(https://www.kpu-m.ac.jp/doc/news/2025/20250711.html)

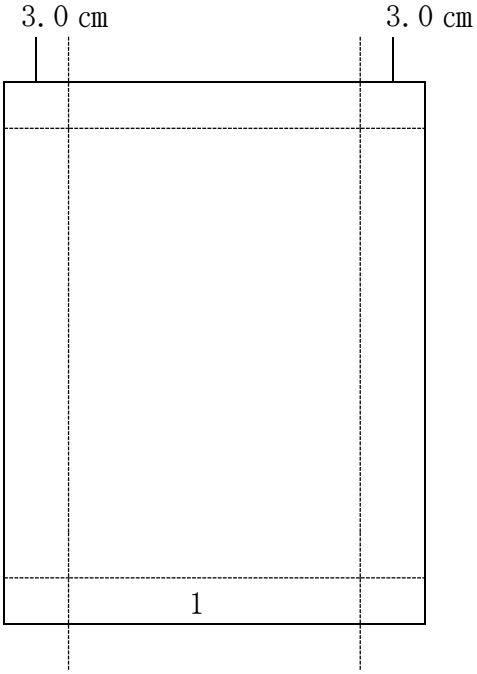
（注 1）：臨床経歴・臨床経験を記載して下さい。また関係する他部門・他施設との連携やこれまで行った社会活動についても記載下さい。

（注 2）学部生・大学院生・研修医・専攻医等の教育の実績を記載して下さい。また DMAT 活動などの社会的貢献も含めた広い視点で教育の実績も記載して下さい。

問い合わせ先：〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町 465
京都府立医科大学総務課総務係 電話 075-251-5210
e-mail: soumu02@koto.kpu-m.ac.jp

［規　定］

紙サイズA4サイズ
ソフトはMicrosoft Word（Windows, Mac 共に可 ）
文字のフォントは明朝体、12ポイント、数字及び英語は半角
行間はシングルスペース、1行あたり文字数35字、33行
上下、左右共にスペースは3.0㎝
項目 (1), (2), (3), (5), (6), (7)ごとに頁番号をつける（下部中央印字）



なお、ご提出していただいた書類等の個人情報につきましては、本学大学院医学研究科救急・災害医療システム学教授選考の目的以外には使用しませんが、本学内の教授会等で公開されることをご承知おき下さい。

提出先　　〒602-8566　京都市上京区河原町通広小路上ル梶井町４６５
京都府立医科大学長　宛

※応募者の連絡先（電話とEメールアドレス）を履歴書とは別にご提出下さい。
※封筒に「救急・災害医療システム学教授応募書類在中」と朱書きして書留でご送付ください。

（その他）　選考の過程で面接及びセミナーにお越しいただくことがあります。また、貴施設にお伺いして、カンファレンス等を傍聴させていただく場合があります。

別紙様式１

履　歴　書

医大（いだい）　太郎（たろう）

昭和（または西暦）〇年〇月〇日生（〇歳）

現住所　〇〇県△△市

平成〇〇年(19xx 年) 3 月 31 日　〇〇大学△学部卒業
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日　〇〇大学大学院△学研究科博士課程入学
平成〇〇年(19xx 年) 3 月 23 日　△学博士（〇〇大学　第〇〇号）
平成〇〇年(19xx 年) 3 月 31 日　〇〇大学大学院△学研究科博士課程修了
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日　〇〇大学△学部助手、〇〇学教室勤務
平成〇〇年(19xx 年) 9 月 1 日　〇〇大学△学部講師、〇〇学教室勤務
平成〇〇年(19xx 年) 4 月 1 日　アメリカ合衆国〇〇大学へ留学
（〇〇大学△学部〇〇科 Post-doc fellow）
平成〇〇年(20xx 年) 8 月 31 日　帰国
平成〇〇年(20xx 年) 9 月 1 日　〇〇大学△学部准教授、〇〇学教室勤務
現在に至る

平成〇〇年(19xx 年)4 月 1 日 ～ 平成〇〇年 3 月 31 日〇〇大学非常勤講師
令和〇〇年(20xx 年)4 月 1 日 ～ 令和〇〇年 3 月 31 日〇〇大学客員講師

所属学会等

日本〇〇学会会員

日本〇〇学会会員

American association of xxxxx-ology, regular member

学会役員等

日本〇〇学会理事

日本〇〇学会評議員

資格等

学会の認定医、専門医、指導医等

日本〇〇学会専門医（第〇〇号）

学術活動等　〇〇誌の編集委員

知的財産（これまでに出願した特許等）目録

1. 発明等の名称；新規な xxxx・およびその用途
   出願番号：特願 20xx-xxxxxx　；20xx 年〇月
   発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇
2. 発明等の名称：〇〇病発症またはリスクの〇〇的検出方法
   出願番号：特願 20xx-xxxxxx・PCT/JPxx/xxxxx　　；20xx 年〇月
   登録番号：特許 20xx-xxxxxx；20xx 年〇月
   発明者：〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇

大学など機関内の委員会、小委員会、審査会等への貢献実績

〇〇大学〇学部教育委員会委員　20xx～20xx 年度

〇〇大学入学試験出題委員会委員　20xx～20xx 年度

社会貢献等（地域・行政への貢献）

〇〇府〇〇委員会委員　20xx～20xx 年度

〇〇市〇〇委員会委員　20xx～20xx 年度

賞罰　　20xx 年　日本〇〇学会奨励賞

臨床業績等

○○病院○○専門外来　20xx～20xx 年度

臨床研修指導医　20xx～20xx 年度

○○科 専門研修指導医　20xx～20xx 年度

教育実績等

○○大学○学部 CBT 委員、20xx～20xx 年度

OSCE 認定評価者、20xx～20xx 年度

○○大学 OSCE 内部評価担当　20xx 年度

○○大学 OSCE 外部評価担当　20xx 年度

○○大学医学部医師国家試験委員、20xx～20xx 年度

○○大学医学部○回生クラス担任・チューター・メンター担当　20xx 年度

学部・大学院の講義・実習実績（2018 年度以降）

○○大学医学部　○○学講義　○回／年　20xx～20xx 年度

○○大学医学部　○○学実習　○回／年　20xx～20xx 年度

修士（博士前期課程）の学位指導経験

学位取得　　○名

博士（博士後期課程）の学位指導経験

学位取得　　○名

研究助成（これまでに受けた文部科学省科学研究費，厚生労働省科学研究費，日本医療研究開発機構(AMED)などの助成金額等について直接経費の総額を記入してください。分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。）

公的助成

代表

1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A）　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　助成金額　○○千円
2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　助成金額　○○千円
3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　助成金額　○○千円

分担

1 文部科学省科学研究費補助金基盤研究（A）　　19xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　（代表者　○○）　助成金額　○○千円
2 厚生労働省科学研究費補助金○○○○○事業　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　（代表者　○○）　助成金額　○○千円
3 日本医療研究開発機構(AMED) ○○○○○事業　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　（代表者　○○）　助成金額　○○千円
※ 分担研究につきましては、本人への助成金額を記入してください。

財団等からの助成

代表

1 ○○○○財団○○○○助成　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　助成金額　○○千円
2 ○○○○財団○○○○助成　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　助成金額　○○千円

分担

1 ○○○○財団○○○○助成　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○の研究　（代表者　○○）　助成金額　○○千円

2 ○○○○財団○○○○助成　　20xx～20xx 年度
　○○○○○○○○の研究　　（代表者　○○）　　助成金額　○○千円

別紙様式２

業　績　目　録

医大（いだい）　太郎（たろう）

（A-a）英文著書

*個人著書の場合

1　Idai T. Means to and end: apoptosis and other cell death mechanisms. ○○○○○（注　出版社名）, New York（注　出版社の所在都市名）：pp1-220, 2011.

*分担執筆の場合

2　Kyoto H, Idai T. Cancer chemotherapy, immunotherapy & biotherapy, 6th ed. In: Idai J, Kyoto A, editors. ○○○○○（注　出版社名）, Philadelphia（注　出版社の所在都市名）: pp457-466, 2019.

（A-b）和文著書

*個人著書の場合

1　医大太郎. なぜベイズを使わないのか!? ○○堂,京都: pp1-262, 2017.

*分担執筆の場合

2　京都花子, 医大太郎. 次世代シーケンサーによる造血器腫瘍解析. 造血器腫瘍アトラス改訂第 5 版. 医大二郎 編. 日本○○社, 東京：pp95-102, 2016.

（B-a）英文総説

1　Idai T, Kyoto M. Genomic imprinting disorders: lessons on how genome, epigenome and environment interact. Nat Rev Genet（注 PubMed の略名法による）20: 235-248, 2019.（IF=41.464）

（B-b）和文総説

1　医大太郎.ゲノム医療時代の病理医の役割.○○医学　26:39-45,2019.

（C-a）英文原著

1　Idai T, Kamigyo J, Kyoto H, Kawaramachi A, Kamogawa R, Shimogamo H. Glycolytic switch is required for transdifferentiation to endothelial lineage. Circulation 139: 243-255, 2019. (IF=18.88)

(C-b) 和文原著

1　医大太郎, 京都花子, 上京二郎. 水球選手のメンタルタフネスを評価する有効な質問項目の検討. ○○医（注　医学中央雑誌の略名法による）174：227-235, 2017.

(D) 学会発表

学会発表は、国内外の学会における特別講演・教育講演等、シンポジウム・ワークショップ・パネルディスカッション等の発表、及び国際学会における一般発表のみ記載してください。

記載の方法は前記に準じ、題名、発表学会名、開催地を発表年の順に記載してください。

Ⅰ）特別講演、教育講演等

1　Idai T. Customized induced pluripotent stem cell-derived red cell reagents. Plenary lecture. 59th Annual Meeting of Am Soc of Hematol. 2017 Dec 7; ○○○○○, USA（注　会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略）.

2　医大太郎, 医大二郎, 京都花子. 教育講演. 世界に羽ばたく○○の育て方. 第77回日本○○学会, 2018, 福島.

Ⅱ）シンポジウム、ワークショップ、パネルディスカッション等

1　Idai T. Estimation of strength during fracture healing based on acoustic emission properties. Symposium; Bone trauma and fracture repair. 2nd World Congress of Biomechanics. 2005 Jul 14; ○○○○○, Netherlands（注　会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略).

Ⅲ）国際学会における一般発表

1　Idai T. Prognostic impact of past history of other malignancies

in prostate cancer. International Prostate Cancer Symposium. 2015 Oct 29-31; ○○○○○, USA （注　会議の開催都市名、国名、ただし国内の場合国名は省略）.

履歴書・業績目録記入上の注意について

業績目録は、別紙様式２のとおり（A-a）英文著書、(A-b）和文著書、(B-a）英文総説、(B-b）和文総説、(C-a）英文原著、(C-b）和文原著及び、(D）学会発表に分類し、それぞれ最近のものから年順に列挙し別葉としてください。

(1)　履歴書の年号は元号と西暦を併記してください。

(2)　代表的な論文１０編の番号の前には○印を付けてください。
なお、代表的な論文１０編については、それぞれ簡潔に要旨、意義および被引用回数(Scopus)を記したもの(２００字程度)を別に添付して下さい。

(3)　共著、共同発表の場合は、本人の氏名を含め全員の氏名を原典に記載された順に記し、本人氏名にアンダーラインを引いてください。筆頭者とほぼ同等に貢献したことが記載されている論文においては、本人氏名の右肩に # 印を、corresponding author の場合は本人氏名の右肩に ＊ 印を付記してください。なお、筆頭者とほぼ同等に貢献した論文あるいは corresponding author である論文においては、これらのことが記載されているページのコピーも提出して下さい(代表論文として提出する論文におきましては、重複して提出して頂く必要はありません)。

例１）医大太郎, 医大花子, 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X：99X-10XX, 20XX.

例２）医大花子, 医大太郎#, 医大二郎. 論文名. 雑誌名
1X：99X-10XX, 20XX.

例３）医大二郎, 医大太郎*, 医大花子. 論文名. 雑誌名
1X：99X-10XX, 20XX.

(4)　英文総説と英文原著論文については、各論文ごとに Impact Factor(クラリベイト･アナリティクス社 Journal Citation Reports(JCR)2024 年版 2023 ジャーナル・インパクトファクター)を記載してください。

(5)　雑誌名が変更となっている場合はその記載の末尾に詳細を明記してください。

(6)　掲載予定のものについては、それを証明する書類を添付してください。

(7)　氏名を英語で表記する場合は、下記例のように統一して記載してください。(例) 医大太郎→「Idai T」

(8)　学位申請論文については、題名の後に（学位論文）と記載してください。